

創建二〇〇年記念特別展

結城神社の

至宝

結城宗広はいどう佩刀と伝わる
名刀 銘 盛重
社外初公開!!

令和6年

2/3 SAT → 4/7 SUN

開館時間：10時～17時(入館は16時30分まで)

休館日：毎週月曜日[但し祝日の場合は翌日]

入館料：一般500円[400円]・学生300円(中学生以下無料)

※[]内は20名様以上の団体料金

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18

【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789

<https://sekisui-museum.or.jp/>



HP



X (Twitter)



Instagram

〈特別協力〉結城神社

〈協賛〉株式会社百五銀行 三重トヨペット株式会社

〈後援〉津市・津市教育委員会 白河市・白河市教育委員会



結城神社拜殿

結城神社の至宝

結城神社は、南北朝時代に後醍醐天皇に仕えた名将・結城宗広を祀る神社で、文政7年(1824)、津藩により津市藤方の地に創建されました。近代に白河結城氏の一族から奉獻を受けた社宝の中には、後醍醐天皇綸旨など、日本史上極めて重要な歴史資料が含まれています。本展では、創建200年を記念し、これらの史料を展観するとともに、社外初公開となる刀剣など、津が誇る結城神社の至宝を展示します。



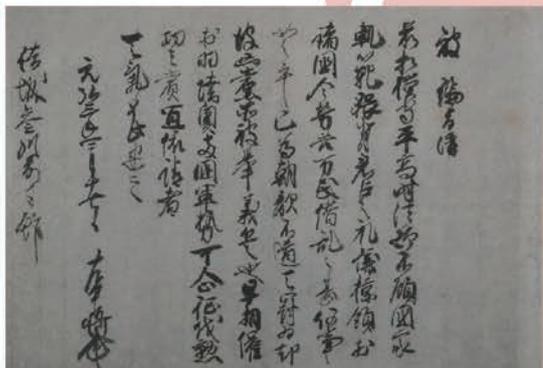
准国宝級と本阿弥家が鑑定！ 脇指 無銘(伝相州行光)



勇将・宗広の肖像 結城宗広像



伝宗広所用の大鎧の一部
黒韋緋糸威大袖



鎌倉幕府を討て！後醍醐天皇の指令書 後醍醐天皇綸旨
白河結城氏の活躍を伝える結城神社文書(三重県指定文化財)、多数公開！



精美な地鉄に端正な直刃の刃文に注目！ 太刀 銘 備前国成綱

※すべて結城神社蔵

結城神社しだれ梅まつり連携企画

結城神社梅園の半券をご提示のお客様は、当館入館料100円割引！
当館の半券ご提示で結城神社梅園の入場料(800円)が100円割引！

展覧会図録、刊行！

社外初公開となる刀剣(結城神社蔵)をはじめ、日本史上重要な史料「結城神社文書」(三重県指定文化財)など貴重な社宝を、解説とともにオールカラーで紹介。結城神社や白河結城氏の歴史を知る上で必携の一冊！
(A4判、オールカラー、84頁、税込1,500円)

ギャラリートーク 担当学芸員が展覧会をご案内します。

開催日時：2月11日(日・祝)・2月25日(日)・4月7日(日)は11:00～
3月9日(土)・3月20日(水・祝)は14:00～ 各日30分程度

※申し込みは不要。当日は開始時刻までに石水博物館受付前へお越しください。参加費は無料ですが、当日の入館料が必要です。

記念講演会 「白河結城家文書と中世史研究 —結城神社文書と那須・伊王野氏を中心に—」

講師：村井章介先生(東京大学名誉教授)
日時：令和6年3月24日(日) 14:00～15:40(13:30開場)
会場：三重県立美術館 講堂(津市大谷町11)
申込方法：石水博物館HPお問合せフォーム、またはお電話にて
定員：申込先着100名様(聴講無料)

同時開催 (第2展示室)

所蔵品展《川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品》

次回展覧会 大森素坡・坪島玉平 二大コレクション受贈記念

新収蔵品展《川喜田半泥子とともにⅡ》

会期：令和6年4月13日(土)～6月23日(日)

展示替休館 令和6年4月8日(月)～12日(金)



交通アクセス

- JR・近鉄津駅東口より三重交通バス(久居駅方面行)にて約15分、「青谷口」下車徒歩約8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス(津駅方面行)にて約10分、「青谷口」下車徒歩約8分
- JR阿漕駅より徒歩約12分・近鉄南が丘駅より徒歩約25分
- お車をご利用の方

【津市街から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線(久居方面)へ。JRの踏切を越え、約200m 先岩田池手前の細い道(角に看板あり)を左折、約300m 先左側。(駐車場 15台)

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18
【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789

<https://sekisui-museum.or.jp/>

第1・第2展示室

創建200年記念特別展

結城神社の至宝

令和6年2月3日（土）～4月7日（日）

出品目録

第1展示室

No.	図録	資料名	差出・筆者等	形質・員数等	年代	備考
1	p32	黒韋緋糸威大袖	伝 結城宗広所用	革製緋糸金物・ 一双	室町時代	
◎2	p39	後醍醐天皇綸旨	千種忠顕 奉	紙本墨書・1通	元弘3年（1333）	
◎3	p40	後醍醐天皇綸旨	中御門経季 奉	紙本墨書・1通	建武2年（1335）	
◎4	p41	太政官符	中御門宣明ほか署判	紙本墨書・1通	建武2年（1335）	
5	p30	紫小旗	伝 結城宗広拝領	絹・1旒	未詳	
◎6	p42	称光天皇口宣案	坊城俊国 奉	紙本墨書・1通	応永28年（1421）	
◎7	p43	後花園天皇口宣案	勧修寺経茂 奉	紙本墨書・1通	宝徳4年（1452）	
◎8	p44	足利義政袖判 後花園天皇口宣案	町広光 奉	紙本墨書・1通	寛正4年（1463）	
9	p11	感忠銘拓本	広瀬蒙斎 撰	紙本拓本・1幅	文化4年（1807）撰 昭和時代前期	
◎10	p45	北畠顕家袖判下文	—	紙本墨書・1通	元弘3年（1333）	
◎11	p46	北畠顕家袖判下文	—	紙本墨書・1通	建武2年（1335）	
◎12	p47	北畠顕家袖判陸奥国国宣	右近将監清高 奉	紙本墨書・1通	建武2年（1335）	
◎13	p48	北畠顕家袖判陸奥国国宣	右近将監清高 奉	紙本墨書・1通	建武2年（1335）	
14	p33	結城宗広像	川口呉川筆	絹本着色・1幅	昭和30年（1955）	
◎15	p49	北畠顕家袖判陸奥国国宣	右近将監清高 奉	紙本墨書・1通	建武2年（1335）	
◎16	p50	北畠顕家袖判陸奥国国宣	鎮守軍監有実 奉	紙本墨書・1通	延元元年（1336）	
◎17	p51	北畠顕家袖判陸奥国国宣追而書	—	紙本墨書・1通	建武2年（1335）	
18	p21	「結城大神」神号	有栖川宮熈仁親王筆	絹本墨書・1幅	明治15年（1882）	
◎19	p52	足利尊氏御判御教書	—	紙本墨書・1通	文和2年（1353）	
◎20	p53	足利尊氏御判御教書	—	紙本墨書・1通	文和2年（1353）	
◎21	p54	須賀清秀書状	須賀清秀 署判	紙本墨書・1通	文和2年（1353）	
22	p31	伝 結城宗広公軍中旗	未詳	絹・1旒	16世紀頃か	
◎23	p55	足利尊氏御判御教書	—	紙本墨書・1通	文和2年（1353）	
◎24	p56	足利義詮御判御教書	—	紙本墨書・1通	貞治6年（1367）	
◎25	p57	足利氏満書下	足利氏満署判	紙本墨書・1通	明德3年（1392）	
◎26	p58	足利義持御内書	足利義持署判	紙本墨書・1通	室町時代前期	

No.	図録	資料名	差出・筆者等	形質・員数等	年代	備考
◎27	p59	足利満直書状	足利満直署判	紙本墨書・1通	室町時代前期	
◎28	p60	足利持氏書状	足利持氏署判	紙本墨書・1通	応永30年（1423）	
◎29	p61	足利持氏書状	足利持氏署判	紙本墨書・1通	応永30年（1423）	
◎30	p77	豊臣秀吉朱印状	—	紙本墨書・1幅	天正18年（1590）	
◎31	p73	宇喜多秀家書状	宇喜多秀家署判	紙本墨書・1通	天正18年（1590）	前期
◎32	p74	蒲生氏郷書状	蒲生氏郷署判	紙本墨書・1通	天正18年（1590）	前期
◎33	p75	浅野長吉書状	浅野長吉署判	紙本墨書・1通	文禄4年（1595）	後期
◎34	p76	北条氏康書状	北条氏康署判	紙本墨書・1通	天文24年（1555）	後期
◎35	p60	藤原頼嗣袖判下文	—	紙本墨書・1通	宝治2年（1248）	前期
◎36	p61	伊王野覚西（資長）讓状	伊王野覚西署判	紙本墨書・1通	弘安9年（1286）	前期
◎37	p66	結城朝治讓状	結城朝治署判	紙本墨書・1通	永和3年（1377）	後期
◎38	p67	白河氏朝置文	白河氏朝署判	紙本墨書・1通	応永28年（1421）	後期
参考1	未載	『結城神社文書目録』	中村直勝筆	紙本墨書・1冊	昭和14年（1939）	
39	p38	『結城神社文書成巻由来記』	村田正志筆	紙本墨書・1冊	昭和54年（1979）	
40	p27	『結城古文書写』	榊原忠次編	紙本墨書・1冊	江戸時代前期	
41	p13	『督学津坂孝綽奏議』	津坂孝綽（東陽）著	紙本墨書・1冊	文政3年（1820）頃	
42	p13	『結城宗広朝臣墓の考』	津坂東陽著	紙本墨書・1冊	文政3年（1820）頃	
43	p12	『三国地誌』	藤堂元甫編 川喜田遠里注	紙本墨書 82冊のうち1冊	江戸時代中期	※
44	p10	『結城神宮廟墓図附碑銘并序考説』	川喜田遠里筆	紙本墨書・1冊	江戸時代後期	※
45	p32	『想事心奮』	平松楽斎著	紙本墨書・1冊	江戸時代後期	※
46	p14	津阪咄（東陽）覚書	宮崎丹後守家	紙本墨書・1通	文政7年（1824）頃	
47	p15	『結城明神御遷宮用覚』	宮崎丹後守家	紙本墨書・1冊	文政7年（1824）	後期
48	p17	結城明神勸請祝詞	吉田家	紙本墨書・1通	文政12年（1829）	
49	p18	『結城神君碑文・結城明神御額覚書』	宮崎丹後守家	紙本墨書・1冊	文政13年（1830）	前期
50	p19	『結城神社草創期ニ於ケル書類』	川口常文ほか	紙本墨書・1冊	明治10年代（1877～86）	
51	未載	北畠頼能公頌徳文	川口常文筆	紙本墨書・1幅	明治時代前期	
52	p19	三重県令岩村定高通達状	三重県	紙本墨書・1通	明治15年（1882）	
53	p24	贈位記（結城宗広）	三条実美 奉	紙本墨書・1通	明治16年（1883）	
54	p24	贈位記（結城親光）	田中光顕 奉	紙本墨書・1通	明治38年（1905）	前期
55	未載	贈位記（結城宗広）	波多野敬直 奉	紙本墨書・1通	大正7年（1918）	後期
◎56	p78	結城氏系図写	未詳	紙本墨書・1巻	未詳	

No.	図録	資料名	差出・筆者等	形質・員数等	年代	備考
57	未載	『結城宗広卿六百年大祭関係新聞記事貼込帖』	大西重俊編	スクラップ帳・1冊	昭和9～13年 (1934～38)	
58	p4 p25	古写真	未詳	写真・2葉	明治時代初期 昭和12年(1937)	
59	p22 p25	別格官幣社結城神社六百年大祭記念絵葉書	結城宗広卿六百年大祭奉賛会発行	絵葉書・5枚	昭和12年(1937)	

第2展示室

No.	図録	資料名	差出・筆者等	形質・員数等	年代	備考
60	p37	太刀 銘 備前国成網	成網	鎗造・1口	未詳	
61	p37	刀 銘 盛重	盛重	鎗造・1口	未詳	
62	p37	刀 古銘 則重	未詳	鎗造・1口	未詳	
63	p37	脇差 無銘	伝 相州行光	鎗造・1口	未詳	
参考2	未載	蒔絵刀掛	川喜田家伝来	木製漆塗・1基	江戸時代後期	※

展示替え 前期：2月3日（土）～3月3日（日） 後期：3月5日（火）～4月7日（日）

◎は三重県指定有形文化財 ※は館蔵 ほかは全て結城神社蔵

第2展示室 所蔵品展

川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品

令和6年2月3日（土）～4月7日（日）

出品目録

第2展示室

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
1	伊賀水指 銘 慾袋	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和15年(1940)	
2	梅絵四方香合 銘 早春	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
3	織部黒茶碗 銘 暗香	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	藤田コ
4	茶碗図(ろくろ引く～)	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和20年代	寄託先品
5	唐津手茶碗 銘 初音	川喜田半泥子作	千歳山石炭窯・大正14年(1925)	
6	粉引茶碗 銘 雪の曙	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
7	志野茶碗 銘 あつ氷	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
8	唐津手茶碗 銘 薄氷	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和16年	
9	黒筒茶碗	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
10	黒筒茶碗 銘 鳴立沢	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
11	椿図(あら壁の～)	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩・昭和20年代	

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
12	焼締茶碗 銘 福ハ内	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和23年	藤田コ
13	割高台茶碗 銘 浮寝鳥	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
14	灰釉茶碗 銘 千歳の香	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和26年（1951）	
15	鼠志野茶碗 銘 一トめぐり	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
16	波和遊（How are you?）	川喜田半泥子筆	紙本墨書・昭和35年（1960）	
17	片身替茶碗 銘 寝物語	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
18	呼継茶碗 銘 ねこなんちゅ	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	
19	赤楽大茶碗 銘 閑く恋慕	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
20	黒茶碗 銘 無茶太郎	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和15年（1940）頃	
21	喚阿巖（Come again.）	川喜田半泥子筆	紙本墨書・昭和35年（1960）	藤田コ
22	志野茶碗 銘 蛾眉峯	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和12年（1937）	寄託作品
23	黒織部茶碗 銘 富貴	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和15年（1940）頃	寄託作品
24	刷毛目茶碗 銘 青海波	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和30年（1955）頃	寄託作品
25	高麗手茶碗 銘 雅茶子	川喜田半泥子作	廣永窯・昭和20年代	
26	虎凶（虎乎猫乎非猫）	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨書淡彩・昭和32年（1957）頃	
27	御所丸風茶碗	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和13年（1938）	
28	井戸手茶碗 銘 寿山	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和16年（1941）頃	

茶席「山里」内

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
29	慶世羅々々（ケセラセラ）	川喜田半泥子筆	紙本墨書・昭和34年（1959）頃	
30	旅枕花入	川喜田半泥子作	千歳山窯・昭和10年代	

※展示作品、展示期間が変更になる場合があります。

※備考欄の「藤田コ」は藤田等風コレクション